

日本語教え再就職支援

2008.11.11
2.1読

豊田市国際交流協会で教室

職を失った外国人を対象に、再就職のための面接や仕事で使える日本語を学ぶ日本語教室が10日、豊田市

小坂本町の市国際交流協会
で始まった。同教室では、
あらかじめ申し込んでいた
計約1000人の外国人が入

門クラスや、初級クラスに
分かれて日本語を学ぶ。

初日の各クラスには、ブ

ラジル人やペルー人など約

40人が参加。テキストをも

とに、講師やボランティア

の人たちの指導を受けなが

ら、名前や年齢の伝え方な

どを練習した。各クラスで
は、面接での受け答えや、
職場で日本人との会話がで
きるようになることを目標
に練習をする。

昨年10月に自動車関連会
社での仕事を失い、雇用保
険で生活している豊田市の

ペルー人男性(55)は「妻と
8歳の子供を抱えて暮らし
ているが、日本語ができな
いと、就職はとてても大変だ。
この講座で頑張って日本語
の読み書きや会話ができる
ようになりたい」と話して
いた。

記事情報

読売新聞（豊田版）2009年2月11日（水）朝刊

*この記事は読売新聞社の許諾を得て転載しています。